

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成29年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立梨の実寮	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	南アルプス市有野4370	設置年月日 (改築年月日等)	昭和53年8月1日
指定管理者	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積:43,994㎡ ○建築延面積:2,937.57㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造2階建、鉄骨造平屋建 ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・管理居住棟(鉄筋コンクリート造2階建)1,163.98㎡ ・作業棟(鉄骨造平屋建)252.00㎡ ・授産施設棟(しいたけ)(鉄骨造平屋建)1,321.92㎡ ・短期入所事業用居室(鉄骨造平屋建)81.90㎡ ・付属棟(倉庫等)(鉄骨造等)117.77㎡ ○各障害福祉サービスの定員 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護:52人 ・短期入所:6人 ・就労移行支援:6人 ・就労継続支援B型:12人 ・施設入所支援:50人 		
主な業務内容	<p>(1)施設等の維持保全に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 <p>(2)利用者に対する障害福祉サービス業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援B型及び施設入所支援に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人) ・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)
------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 利用状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (目標値)
利用者数	生活介護	48	48	47	
	短期入所	7	8	11	
	就労移行支援	2	2	2	
	就労継続支援B型	10	10	12	
	施設入所支援	40	39	37	
	利用者数合計	107	107	109	
	目標値	126	126	126	126
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
対27年度比		100.0%	101.9%		
利用率	84.9%	84.9%	86.5%		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成28年度	平成29年度 (計画値)	平成29年度 (実績値)	平成30年度 (計画値)
収入	施設利用料	169,909,872	171,940,000	175,968,498	174,800,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	5,430,074	6,356,000	5,122,274	4,575,000
	収入合計(A)	175,339,946	178,296,000	181,090,772	179,375,000
支出	人件費	125,210,526	134,000,000	131,962,251	139,095,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	44,889,178	44,296,000	46,272,938	40,280,000
	うち外部委託費(B)	817,776	450,000	874,731	891,000
支出合計(C)	170,099,704	178,296,000	178,235,189	179,375,000	
収支差額(A-C)	5,240,242	0	2,855,583	0	
外部委託比率(B÷C)	0.5%	0.3%	0.5%	0.5%	
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成30年2月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:59名(施設入所支援サービス利用者)
-------	-----------------------------------------------------------

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
日常生活の相談・要望	72.1%	20.3%	6.8%	1.7%
個人の秘密の保持	79.3%	12.1%	6.9%	1.7%
食事	84.7%	10.2%	3.4%	1.7%
生活支援(入浴ほか)	72.9%	22.0%	5.1%	0.0%
健康管理	80.4%	17.8%	1.8%	0.0%
買い物・外出等の対応	59.2%	16.7%	16.7%	7.4%
設備・管理	67.2%	19.0%	6.9%	6.9%
施設全般の満足度	72.4%	22.4%	5.2%	0.0%

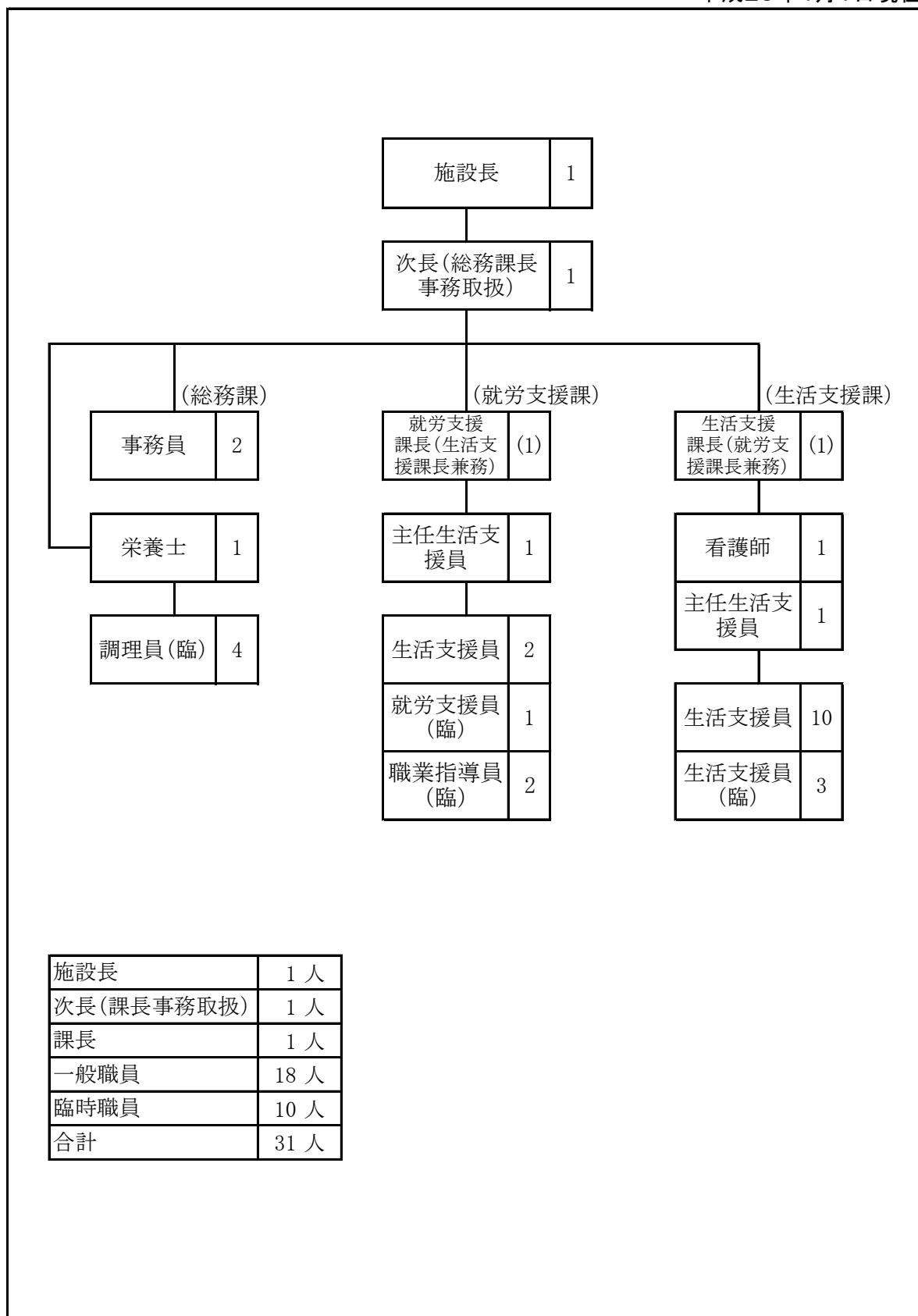
利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①今の仕事を続けていきたい。 ②一般就労したい。就労移行に移りたい。色々な仕事をしてみたい。 ③グループホームで生活したい。 ④もう少し外出したい ⑤建物を新しくして欲しい。 ⑥個室になりたい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①～③利用者の個性に合わせた支援を行い、充実した生活ができるよう取り組んでいく。 ④アンケート調査の時期は、インフルエンザ流行時期のため、外出を制限していたことから不満に思う方がやや増えている。利用者の安全に配慮し、外出等の機会を増やすよう取り組んでいく。 ⑤昨年度にトイレを改修した。 ⑥相部屋のため施設面の不満を感じる方もいる。対応が可能な範囲で対策を取り、充実した生活が送れるよう取り組んでいく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の不具合について、速やかな対処ができています。施設は老朽化しているが、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。 昨年度、県により老朽化したトイレについて、改修を実施した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。 施設・設備等の老朽化が目立つことから、利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応すること。
運営業務	サービス等利用計画に基づき本人の意思を尊重した個別支援計画を作成し、利用者一人一人の状況に合わせた、食事・排せつ・入浴等の介護、相談及び助言、その他日常生活に必要な訓練を行った。 また、就労継続支援B型では、利用者の特性に合わせた様々な生産活動を提供するなど、適正に業務を執行した。	事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績から、就労移行支援以外のサービスは、概ね計画どおり執行が出来た。 就労移行支援について、引き続き関係機関との連携を図り利用者の増加を図っていく。	就労移行支援サービスについては、支援学校等へのPRを積極的に行うとともに、関係機関との連携を密に行い、施設利用の促進のために努力されたい。
収支状況	支援学校などと連携を図り、希望者の施設見学の受け入れなどを積極的に行い、利用料収入が増額となった。 引き続き経費削減を行い、効率的な運営を心掛けていく。	安定した施設経営がなされている。 今後も、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに利用料収入の確保に努力されたい。
自主事業	日中一時支援事業、共同生活援助について適正に業務を遂行した。 平成29年5月に「生活支援センタークローバー」を開設し、指定相談支援、居宅介護、重度訪問介護、移動外出支援の支援の充実を図った。	自主事業申請（業務計画書）どおり適正に実施されている。 昨年度、新規に開設した「生活支援センタークローバー」を活用して支援の質の向上に努力されたい。
利用者満足度	「満足」「どちらかといえば満足」との回答が多く出ている状況ではあるが、少なからず不満の回答もあるので、利用者の意見に耳を傾け利用者の視点に立ったサービスを提供していく。	概ね満足を得られているので、今後においても利用者の意見に耳を傾けながら、サービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	知的障害があり、日常生活の支援が必要な方や一般企業に就職することが困難な方が自立した社会生活を送れるよう、個別支援計画に沿った生活に必要な訓練や職業訓練などを行うとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。 個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行うことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等については、条例、協定等に基づき概ね適正に履行されている。 質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。 利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。 引き続き、受注先の確保を図るなど、就労継続支援B型の工賃向上に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	引き続き、条例、協定等に基づき適正な施設管理・運営業務に努めていく。 サービスの向上と経費削減に努め、安定した施設経営に努めていく。 受注先の確保や販路を拡大することで工賃の向上に努めるとともに、サービスの向上に努めていく。	

7 管理体制(組織図)

平成29年4月1日現在



施設長	1 人
次長(課長事務取扱)	1 人
課長	1 人
一般職員	18 人
臨時職員	10 人
合計	31 人